



2022年・第64回こどもの読書週間標語
「ひとみキラキラ 本にドキドキ」
4/23~5/12は、こどもの読書週間です。

4/23 はこども読書の日

～「ファミリー読書（^{うちどく}家読）」のすすめ～

家族でいっしょに本を読んだり、読んだ本の感想を語り合ったりすることで、共通の話題が生まれます。読書の楽しさを体感でき、家族間のコミュニケーションが深まります。

決まったやり方はありませんが、

- ・ノーテレビ、ノーゲームの日を設ける
- ・同じ絵本を読む

という方法が簡単でおすすめです。忙しい生活の中、子どもとコミュニケーションを取るチャンスにもなりますので、ぜひ家庭での読書「うちどく」を行ってみてください。

何を読んだらいいかわからない…そんな時におすすめの本



【ヨシタケシンスケ 発想えほんシリーズ】

作：ヨシタケ シンスケ 発行：プロンズ新社

『りんごかもしれない』は小学2年生の国語教科書巻末に掲載されているので、ご存じの方も多いと思います。児童生徒の人気も高く、こどもの本総選挙でも第1回、第2回ともにベスト10入りしています。このシリーズは1ページの情報量が多く、多人数への読み聞かせが難しいため、休み時間の読み聞かせボランティア活動ではなかなか取り上げにくいのですが、一対一で向き合って読むのには向いています。ぜひ、子どもと一緒に読んでみてほしいと思うシリーズです。



【ネットのルール 学校では教えてくれない大切なこと(12)】

マンガ・イラスト：関 和之 発行：旺文社

「学校ではおしえてくれない大切なこと」シリーズは、大人が読んでもためになるものが多いのですが、これは特に家庭で一緒に読んでほしい本のうちのひとつです。ネットは便利な反面、使い方を間違えないようにしないといけません。名張市でも一人一台タブレットが貸与されるようになり、ますますネットリテラシー（ネットを正しく使える能力）が重要になってきています。総務省ホームページの「上手にネットと付き合おう！～安心・安全なインターネット利用ガイド～」(https://www.soumu.go.jp/use_the_internet_wisely/)と併せて読むと、より理解が深まると思います。